



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区  
いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 越田和俣充  
幹事 小澤 啓一  
SAA 鈴木 雅之  
会報小委員 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473  
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2829 回 例会 令和 2 年 9 月 16 日 (水・晴)

2020 - 21 年国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは機会の扉を開く

会員卓話 木幡 智清 会員  
嵐 繁雄 会員

ロータリーソング 我等の生業  
— 今月は基本的教育と  
識字率の向上月間です —  
ロータリーの行動規範  
嵐 繁雄 会員



## ◎会長報告—越田和俣充会長

皆さん、こんにちは。先週は休会となり2週間振りの皆さんとの例会です。皆さんはこの2週間どの様にお過ごしでしたでしょうか。私は2週間大変忙しかったです。まず、福島へ会議で日帰り、その後家内の姉が入院していると聞き、新潟の柏崎まで行って参りました。その後食品衛生協会の研修で秋田へ行き、昨日は福島で会議があり今朝帰って参りました。私も80歳近くですのでこの様に会議や集会が続きますとしんどいと感じます。本日は会員卓話ですが面白く楽しい卓話をお願い致します。最後に皆さんに配布させていただきましたが「いわき勿来ロータリークラブ例会出席心得」をお配りしました。第3週例会日に会員の皆さんに読んでもらいたいと思います。

## ◎幹事報告—小澤啓一幹事

- ・いわき平中央ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブから年次計画書と週報が届いています。
- ・東京江戸川ロータリークラブと岡崎南ロータリークラブから週報が届いています。
- ・事務局の金成さんがしばらく休みになりましたので私が代理で行います。

## ◎各委員会報告

### ◇出席委員会—高萩勝利小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、出席奨

励賞をお渡し致します。名前を呼びますので前の方へどうぞ。川口会員、赤津善宣会員、私高萩です。おめでとうございます。



## ◇スマイルボックス委員会

—佐藤政司小委員長

- ・GOTO キャンペーンもやっています。皆さん、元気を出して行きましょう。越田和会長、星副会長、嵐会長エレクト、小澤幹事、鈴木(敏)、鈴木(秀)、佐藤(政)、鈴木、木幡、高萩、鈴木(雅)、赤津(善)、富澤、影山、洪佐、渡邊公平パストガバナー、川口、柏原、木村(義)、白井各会員
- ・出席奨励賞ありがとうございました。  
高萩、赤津(善)、川口各会員
- ・前回休んでごめんなさい。吉野、鈴木(修)各会員
- ・本日早退ごめんなさい。相原会員、林副幹事

## ◇職業奉仕委員会—鈴木敏広委員長



先週、皆さんへご案内が届いたかと思いますが、10月14日(水)は移動例会を予定しています。大勢のご参加をお願い致します。場所は、勿来IGCCパワー合同会

社さんになっております。世界の最新技術を地元で開発していて私も見学出来るのを楽しみにしております。ミドリで食事と例会を行いIGCCさんへ移動し説明を受けてプラント見学の予定です。

## ◎米山功労者表彰伝達

会長より高萩勝利会員へ米山功労者第7回マルチブルの感謝状が届いています。前の方へどうぞ。



## ◎会員卓話—木幡智清会員



皆さん、こんにちは。本日の卓話は私事で申し訳ありませんが先祖のお墓が見付かりましたので、その話をしたいと思います。私の先祖は相馬藩の藩士でした。出は

家系図を見ると京都です。お墓を探してみると松川浦の南に小高い丘があり、昔から相馬の狩場だったようです。そこにお寺があったそうです。行ってみると大きな石がゴロゴロ出て来ました。古くて拓本をとっても見えないので石材屋さんをお願いして高圧洗浄水をやり拓本をとりましたらハッキリと私のご先祖だと確認出来ました。あまりに大きな石で戒名の所だけ切ってお墓に建てようと相談し切り始めたら東日本大震災が発生し罰が当たったんじゃないかと言われました。そのお墓の年代を調べましたら慶長18年1615年で今から405年前です。1657年363年前、元禄4年328年前享保15年287年前が相馬のお墓に眠っていました。その他嘉永2年170年前、天正4年と天正18年443年前は親子で討死です。伊達藩と戦いになり今の新地町で亡くなったようです。

## ◎会員卓話—嵐 繁雄会員



皆さん、こんにちは。只今プリントをお配りしております。私の趣味の1つでお城廻りがあります。その中で今でも天守閣が現存している12城について話をしたいと

思います。

戦国時代以前の中世の城は山城といわれ、数十から数百m位の山の上に作られた、防衛の機能に重点を置いたものが多く、城下町の発達も余りみられませんでした。また、天守閣というような大きな建物もなく、現在の遺跡としてもあまり見るべきものが残っていません。旅先で見かけるのは、安土桃山時代以降の城で平城、平山城と呼ばれ、平地に聳え、軍事政治の中心となっていたものです。規模も大きく、当時は石垣や土塁の上に天守閣や櫓が立ち並び、周囲を威圧していました。しかし、現在でも城の威容を保っているものはあまりありません。江戸時代には170余もあったのですが、今でも昔のままの天守閣が聳えているのは、12城にすぎません。又、近年鉄筋コンクリートで外見だけ復元したものも少なくありません。堀が埋められたり、石垣が崩されたりして、ほとんど形をとどめていないものさえあります。全く残念なことだと思います。ただ、最近になって、木造で江戸時代のままに復元しようという動きもあって、白石城(宮城県)、白河小峰城(福島県)、掛川城(静岡県)で木造天守閣が建てられ、周りの景観も整備されて、往時の姿を伺えるようになりました。一度立ち寄ってみては如何でしょうか。



彦根城(滋賀県) 国宝



姫路城(兵庫県) 国宝

出席状況	正会員数	47名	本日の修正出席率	73.91%
	本日出席会員数	34名		